

2019年秋季特別展

見 知 楽
て、 っ、 む
C H A W A N



鼠志野茶碗 銘 横雲 (後期展示)



絵高麗梅鉢文茶碗 (後期展示)



彫三島茶碗 銘 池水 (前期展示)



坂本井戸茶碗 (前期展示)



薩摩荒磯絵茶碗 (前期展示)



高取茶碗 銘 香久山 (後期展示)

茶碗の世界



大天目 (後期展示)

前期

2019. 8.31 sat

10.14 mon

後期

2019. 10.16 wed

12.1 sun

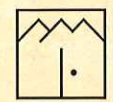
主催——公益財団法人 野村文華財団 野村美術館

後援——NHK京都放送局・京都新聞

開館時間——10:00—16:30[入館は16:00まで]

休館日——毎週月曜日。但し、9/16[月]・9/23[月]・10/14[月]・11/4[月]は開館、9/17[火]・9/24[火]・10/15[火]・11/5[火]は休館します。

入館料——大人800円・高大生300円・中学生以下無料・団体[20名以上] 600円



野村美術館
Nomura Art Museum

前期 | 8月31日[土]—10月14日[月] 後期 | 10月16日[水]—12月1日[日]

知って、
見えて、
楽しむ

CHAWAN
茶碗の世界

茶を飲むための茶碗は、十六世紀に茶の湯が確立する頃には天目類が多く使用され、その後中期には朝鮮半島製のもの、ついで備前や信楽などが使われるようになるなど、時代を経る毎に茶の湯で使われる茶碗の種類は増加していきました。そして茶人は中国製のことを「唐物」、朝鮮半島製のことを「高麗物」、日本製のことを「和物」と呼ぶようになり、また「和物」は主として産地により分類され、仁清や乾山など優れた名工の作品はその人物名で呼ばれました。

今回の展覧会では年代や産地によって様々な特徴・魅力を持つ茶碗を選びすぐり展示します。実際に茶碗を「見て」、「知って」いただき、抹茶を飲むことをイメージして展覧会をお楽しみいただけたら幸いです。



祥瑞沓形茶碗(前期展示) 熊川茶碗 銘 霊雲(前期展示) 薩摩荒磯絵茶碗(前期展示) 長次郎作赤楽茶碗 銘 獅子(前期展示)

前期

灰被天目・祥瑞沓形・珠光青磁 銘 初花・坂本井戸・蕎麦 銘 藤浪・安南絞手・織部唐絵・瀬戸唐津 銘 冬の月・仁清 金筋・乾山 山水画讃・樂長次郎作赤 銘 獅子・樂道入作赤 銘 石榴・薩摩荒磯絵 など

《主な展示作品》

大天目・人形手・絵高麗梅鉢文・本願寺井戸・御本立鶴・金海・紅安南・練上志野 銘 猛虎・鼠志野 銘 横雲・黒織部・高取 銘 香久山・伊賀 銘 すね市三猿・陳元賛 染付山水図・朝日 など

後期



御本立鶴茶碗(後期展示) 黒織部茶碗(後期展示) 南京青磁内赤絵(後期展示) 絵高麗梅鉢文茶碗(後期展示)

□地階併設展

※9/27(金)・10/11(金)・11/8(金)は、都合により地階展示室を閉鎖致しますのでご了承下さい。

- 《 個展 》
- ・「喫茶時光」豊増一雄茶茗陶展 10月16日(水)～10月20日(日)
 - ・大森礼二 茶道具展 10月22日(火)～10月27日(日)
 - ・唐津 安永頼山茶陶展 10月29日(火)～11月4日(月)
 - ・杉本貞光 わびさびに思いを 11月6日(水)～11月17日(日)
 - ・影向 村田浩一郎 茶垵展 11月19日(火)～11月24日(日)
 - ・森の奥、フランス人陶芸家二人展 11月26日(火)～12月1日(日)
- ※各個展最終日は、16:00で終了致します

呈茶席 | 椅子席の茶室にて上生菓子付き抹茶を1客700円でお召し上がりいただけます。(10:00-16:00)

野村美術館
Nomura Art Museum
〒606-8434 京都市左京区南禅寺下河原町61
http://nomura-museum.or.jp TEL075-751-0374

[来館順路]
市バス/京都駅・四条河原町・三条京阪前より
⑤系統「南禅寺・永観堂道」下車、徒歩5分
地下鉄/東西線「蹴上」駅下車、徒歩10分

